

## 縄文時代の暮らし 今から約 12,000 ~ 2,300 年前

### 縄文時代の特徴

- ・ 土器の出現
- ・ 弓矢の発明
- ・ 植物食の利用拡大
- ・ 大規模な集落の出現
- ・ 祈りや信仰の道具

### 縄文時代中期の大規模な集落

はらまのうぎょうこうこうまえ したはら 原町農業高校前 (下原) 遺跡 (北杜市長坂町)



たてあなしきゅうきよあと 竪穴式住居跡



復元した竪穴住居



ろあと 炉跡

縄文時代には、広場を囲むように家が丸く並ぶムラの形があります。この遺跡は、今から 4,500 年前の八ヶ岳南麓につくられた中心的なムラと考えられています。

### 植物食の利用

これは何の実かな？



とてもシブい すこしシブい シブくない

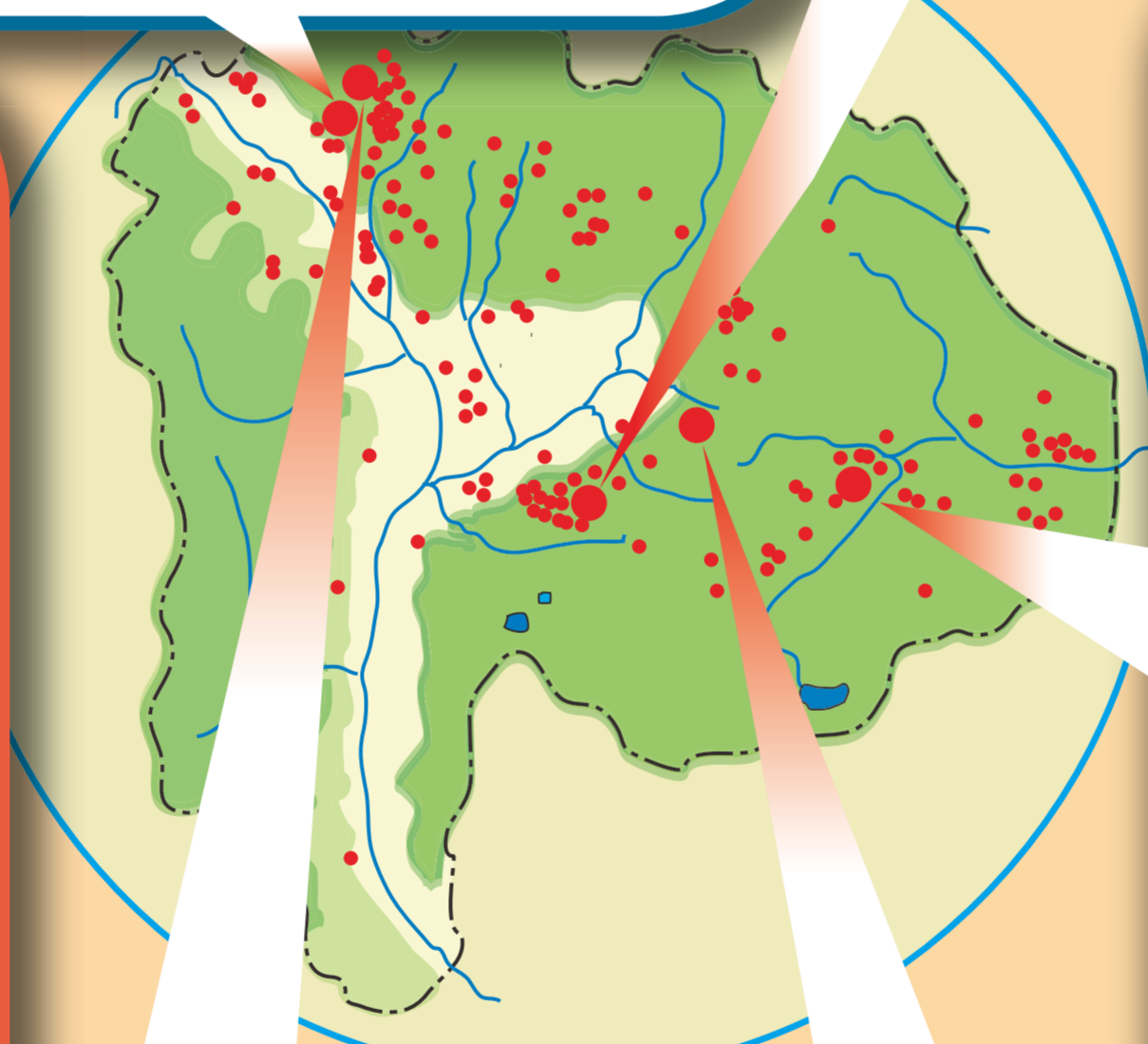
どうやって食べたのかな？



にる



すりつぶす



### 装飾豊かな縄文土器と石器

いち さわ 一の沢遺跡 (笛吹市境川町)



ませいせきふ 磨製石斧



くぼみいし すりいし 凹石・磨石



しゅつど どき 出土土器

せきぞく 石鏃



石鏃は弓矢の先端につけます。



だせいせきふ 打製石斧



せきすい 石錘

今から約 4,500 年前、山梨・長野を中心に、縄文土器の文様がとても発達していました。また、石器もいろいろな種類のものが作られました。

### 敷石住居跡

なかや 中谷遺跡 (都留市中谷)



敷石住居跡

ろあと 炉跡

縄文時代では、竪穴式住居が一般的ですが、この床面に平たい石を敷いたものを敷石住居と呼んでいます。

### 祈りや信仰の跡を発見

きんせい 金生遺跡 (北杜市大泉町)



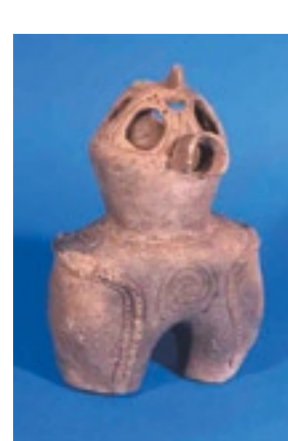
しゅつど どき 出土土器



今から 3,500 ~ 2,300 年前のムラです。ここでは、大小の石が並べられ墓や祈りの場として使われていました。そこからは、土偶や石棒がたくさん発見されました。



せきぼう 石棒



ちゅうくう どぐう 中空土偶

### 1,000 点を超える土偶が出土したムラ

しゃかどう 釈迦堂遺跡 (笛吹市一宮町・甲州市勝沼町)



今から約 4,500 年前の山梨のムラでは、たくさんの土偶が使われていました。土偶は、祈りに使われるもので、完全な形で発見されることはほとんどありません。